

## 16 健康教育 調査研究委員会

### 一 テーマ

子どもたちが健康の保持増進に向け、主体的に取り組める健康教育のあり方  
～ICT 機器を利活用した保健教育～

### 二 テーマ設定の理由

一人1台のタブレット端末が導入され、教科学習や児童会・生徒会活動などにおいてタブレット端末を用いた活動が取り入れられている。健康教育でも、GIGA スクール構想が導入される前に、タブレット端末を使った授業の紹介があったが、各校の環境が整備された現在、さらにどのような活動で ICT 機器を利活用できるのか、また、どのような指導ができるのかを探りたいと考え、本テーマを設定した。

### 三 研究の経過

第1回	5月17日	研究の方向の確認、研究内容の検討、研究推進計画
第2回	6月23日	アンケート内容の検討
第3回	8月1日	アンケート内容の検討
第4回	10月20日	実践例の確認、Chromebook 活用事例の保健教育活用案の検討
第5回	11月28日	本年度の反省と来年度への要望

### 四 研究の内容

ICT 機器の活用について、教科等での活用事例や各校養護教諭の実践事例を調査し、保健教育においてどのように利活用できるのかを検討し、養護教諭間で共有すると共に指導例を紹介した。

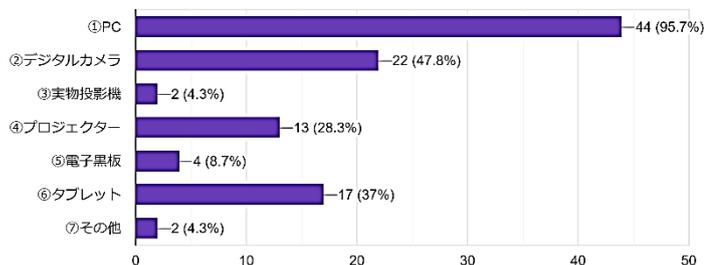
#### 1 各校で実践している教科指導等での ICT 活用状況と活用例の調査・考察、活用場面の検討

(1) ICT 機器やアプリの使用状況についてのアンケート調査(結果と考察は教育課程研究協議会で発表)

##### 【アンケート結果より抜粋】

2 1で①いると答えた方にお聞きします。使用するICT機器は何ですか？

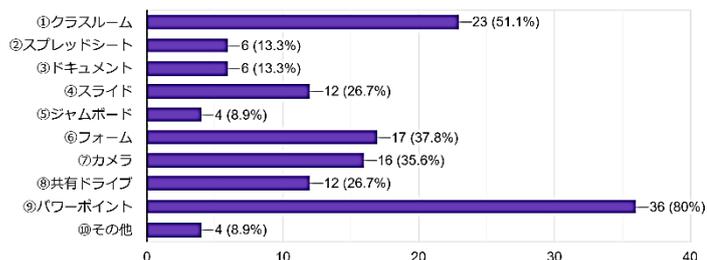
46件の回答



パソコンが圧倒的に多く、デジタルカメラ、タブレットが続く。パワーポイントで作った教材や資料の視聴時にタブレットを使うケースもあり、個のペースで取り組める良さを有効に利用している。

3 使用するアプリ・機能は何ですか？

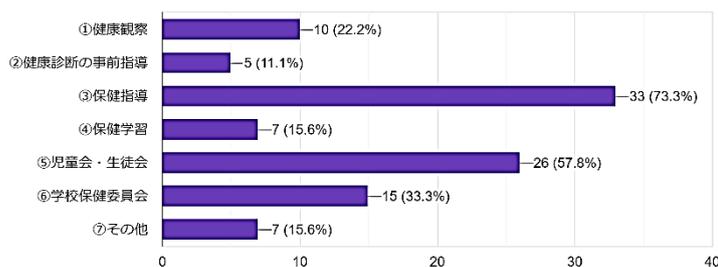
45件の回答



機能が多く使い慣れているパワーポイントが最多で、クラスルームが続く。パワーポイントと類似機能のスライドは、その利便性から、使用機会が増える可能性がある。

#### 4-1 どのような時にICT機器を使用していますか？

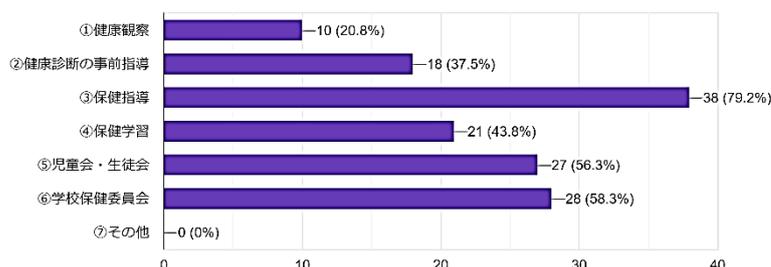
45件の回答



保健指導が最多だが、コロナ禍の使用として特徴的なことは、従来参集していた児童会・生徒会、学校保健委員会での使用機会が多いことである。その他にも同様の使い方が見られる。

#### 5 今後どのような場面で活用していきたいですか？

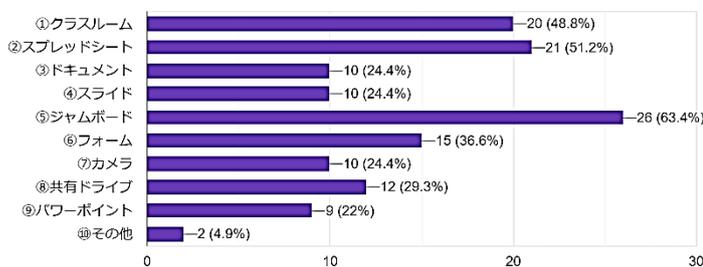
48件の回答



問4-1と比較すると、②健康診断の事前指導、④保健学習、⑥学校保健委員会で活用したいという回答が、2~3倍に増えている。

#### 6 今後どのようなアプリ・機能を使用してみたいですか？

41件の回答



問3と比較すると、ジャムボードは7倍、スプレッドシートは3.8倍に増えている。教科学習でも使用頻度が高いアプリのため、保健教育での活用の幅も広いと思われる。

(2) 上田市 GIGA スクールサイトからの、保健教育で応用が見込めるアプリ・機能を使った授業実践事例の抽出。

- ① 小2 学級活動「本を紹介しよう」の事例
- ② 小3 社会科「わたしたちのまち みんなのまち」の事例

## 2 ICT 機器やパワーポイント等を使った各校保健教育実践の収集

1-(1)のアンケートから、使用希望が多かったアプリ・機能(=スプレッドシート・ジャムボード)を利活用した実践事例を収集し、10校から提供いただいた事例をポータルサイトや共有ドライブ等で閲覧できるようにした。およその内容は次の通り。

- ・フォームやスプレッドシートを使った朝の健康観察の例・アンケート調査の例
- ・カメラ・ジャムボード・スプレッドシートを使った安全な生活のための危険箇所マップやけが予防ポスター作成の例

- ・ジャムボードを使った保健指導・児童会生徒会での意見交換の例
- ・カメラ・ジャムボード・スプレッドシートを使って日常生活や学校生活を視覚化した保健指導の例
- ・meet を使った集会・学校保健委員会の例

### 3 上田市 GIGA スクールサイトから抽出した授業実践事例をもとにした保健教育での活用案の作成と紹介

#### 【小2 学級活動】

単元	めあて	内容	使用したアプリ・機能
本の紹介をしよう	大好きな本、お気に入りの本、みんなに教えたい本について紹介しましょう。 読む人が見やすいようにしましょう。	【事前準備】 スライドで作成したテンプレート(タイトル、名前、紹介文の枠)をClassroomの課題でコピーを配布する。  【授業】 1 児童は、Classroomの授業からスライドを開く。 2 本の写真を撮り、名前、紹介文を入力する。 3 課題を提出する。	クラスルーム スライド

#### 5年「ケガの防止」

- 1 カメラを使用して、校内の危険箇所を撮影する。(子ども同士で撮影しあう)
- 2 予め教師が作成したスライドに写真を貼り付け、この場所を選んだ理由やどういったところが危険かについてグループ内で意見を出し合い、発表用スライドを作成する。
- 3 課題を提出する。または全体で発表する。

#### 【小3 社会】

単元	めあて	内容	使用したアプリ・機能
わたしたちのまち みんなのまち (1)市の様子	地図記号を覚えよう	1 先生の作成した地図をもとに、児童は地図記号を貼り付ける。 2 地図が完成したら、クラスルームで提出する。 3 先生は、提出された課題を採点して児童に返却する。	クラスルーム その他

#### 5年「ケガの防止」

- 1 先生が作成した校内地図をもとに、地図上の危険個所に印をつけていく。
- 2 地図が完成したら、クラスルームで提出する。

## 五 研究のまとめと課題

ICT を利活用した活動は、子ども同士がお互いの活動を見ることができるため、見合っただり、自分の考えを整理し深めたりしていくことができると事例から教えていただいた。活動や考えの可視化は、自分の考えや意見を表出しにくい子どもの助けになり、質問や意見の交流などの対話につながっている。また、自分の姿や生活を客観的に見ることができるため、健康課題を自分事として捉え、主体的に取り組むことにもつながった。指導する側としても、子どもたちの知識や学びの実態把握が瞬時にできるので、不足部分が明確になり、必要な情報・知識を適切なタイミングで補うことができる良さがある。これらのことから、ICT 機器の利活用は、子どもが自ら考え行動し、子ども主体の活動をする一助となると言える。

一方で、タブレット端末の習熟度は個人差があり、ICT では伝わりにくく理解しにくい活動もある。子どもの実態や活動に応じて、これまでの手法（板書や手作り教材、学習カードなど）とうまく併用して活用することで、さらに効果的なものとなりそうである。そのためには、子どもだけでなく、養護教諭も積極的に ICT 機器を使って、扱いに慣れていく必要があると言える。